2012
11月号
第441号

# 広報 かざまうら
KAZAMAURA

村の花鳥木

はまなす　かもめ　ひば

発　　行　風間浦村役場
編　　集　総　務　課
HPアドレス　http://www.kazamaura.jp/
印 刷 所　青森コロニー印刷

## 学校法人同志社・風間浦村交流20周年記念式典
## 同志社フェアin風間浦

### ▶今月の内容◀

2～3　㈶同志社・風間浦村交流20周年記念事業
4　秋の交通安全運動・同志社大学フィールドワーク
5　ウォーキング2012・県小陸
6　こども民族芸能大会・宝くじ助成金
7　水産教室・人権週間
8～9　風間浦村普通・特別会計決算報告
10～11　お知らせ
12　大間病院だより
13　健康だより
14　年金だより
15　社協だより
16　ダイヤモンド賞・戸籍の窓

### ▶村民憲章◀

1、わたくしたちは、きまりを守り、親切で明るい村をつくります。
1、わたくしたちは、仕事に喜びをもち、豊かな村をつくります。
1、わたくしたちは、青少年に希望を老人に生きがいを、そして心のあたたかい村をつくります。
1、わたくしたちは、自然を愛し、花と緑の美しい村をつくります。
1、わたくしたちは、常に知識を求め、スポーツに親しみ、楽しい村をつくります。

# 学校法人同志社・風間浦村交流20周年記念式典
## 同志社フェアin風間浦

10月13日、学校法人同志社大谷實総長を始め、学校法人同志社関係者及び同志社校友会等79名の方々が風間浦村を訪れました。

同志社との交流は、同志社創立者である新島襄先生が、１８６４年に渡米しようと、江戸から函館に向けて航海中、下風呂に寄港されたことが縁で１９９２年に同志社大学留学生の村訪問が始まり、同年、「新島襄寄港の地」碑を建立。中学生相互の訪問や毎年行われている碑前祭、最近では、同志社大学学生の村内でのフィールドワーク事業などが行われ交流が続いています。

今回その交流が20周年を迎えるにあたり記念事業が開催されました。

飯田浩一村長と同志社大谷實総長による連携協力包括協定書の交換

下風呂の海峡いさりび公園内にある新島襄寄港の地、記念碑の前では、『碑前祭』が開催され、飯田村長の挨拶、大谷総長及び中村同志社校友会副会長による献花、佐藤同志社校友会青森県支部長の挨拶があり、同志社グリークラブ学生による讃美歌、風間浦村民歌、同志社カレッジソングの演奏が行われました。

風間浦中グラウンドでは、スポーツ教室が開催され、同志社大出身で女子棒高跳びロンドン五輪代表の我孫子智美選手らが村内小中学生に陸上競技の基礎などの指導が行われました。

村民野球場では、昨年全国制覇した同大学軟式野球部監督及び部員による児童生徒達への野球指導行われました。

挨拶をする佐藤同志社
校友会青森支部長

献花をする中村同志社校友会
副会長

同志社大野球部員に
指導を受ける風中野球部員

我孫子選手から指導を受ける
児童・生徒たち

大谷総長より感謝状が贈られた佐賀平一郎氏

同志社中父母の会から寄贈された「カタルパ」の記念植樹

また、大谷総長、飯田村長、立会のもと同志社中父母の会関係者、風間浦中ＰＴＡ関係者及び村教育委員会関係者により新島襄がアメリカから種を持ち帰り師弟の庭に植えたという、「カタルパ」の苗木の記念植樹が行われ、引き続き風間浦中学校体育館において『学校法人同志社・風間浦村交流20周年記念式典』が同志社と村の関係者や村内小中学生ら３５０人が出席し開催されました。

式典では、飯田浩一村長と同志社大谷實総長が、交流20周年を記念して、風間浦村と学校法人同志社が「包括的な連携のもと、教育、文化等の分野で相互に協力し、地域社会の発展と人材交流に寄与すること」を目的とした連携協力に関する包括協定書と記念品の交換が行われ、式辞が述べられました。

続いて交流事業に尽力された学校法人同志社大谷實総長、齋藤輝夫元・同志社校友会青森県支部長、同志社中学校、横浜力前風間浦村長、佐賀平一郎氏（佐賀屋第13代当主）、風間浦中学校に感謝状と記念品が贈られました。また、風間浦中1年亀谷留那さんによる記念論文の発表に続き、同志社大学神学部本井康博教授による特別記念講演が行われました。その後、同志社グリークラブ演奏会、最後に風間浦中生徒による風中よさこいソーランが披露され、盛会のうちに式典が終了いたしました。

「新島襄」生誕170年記念論文を発表した亀谷留那さん

本井康博教授による特別記念講演

会場を沸せた風中よさこいソーラン

同志社グリークラブによる演奏会

## 秋の全国交通安全運動

9月21日から30日までの10日間秋の交通安全運動が展開され、風間浦村及び関係団体においても様々な運動が行われました。

25日には風間浦村が交通死亡事故ゼロの日継続18年を達成し、青森県知事及び青森県警察本部長からの感謝状贈呈が行われました。

26日には村内全域で交通安全パレードを実施し、大間警察署のパトロールカーを先頭に各地区の小学校鼓笛隊が演奏行進してパレードを盛り上げてくれました。

これからの季節は日没時間が早まる夕暮れ時の事故の多発が懸念されることから、外出する際は反射材を着用し、村民一人ひとりが交通事故を未然に防ぐことを心掛けましょう。

村内各小学校による鼓笛パレード

交通死亡事故ゼロの日継続18年
青森県知事表彰を受ける飯田村長

交通死亡事故ゼロの日継続18年
青森県警察本部長表彰

## 同志社大学社会福祉学科　～フィールドワーク事業～

9月18日から20日の日程で同志社大学社会学部社会福祉学科の野村ゼミ所属の学生10名が来村し、村内各小学校や風間浦保育所、風間浦中学校において交流実習を行いました。

今年で四回目となるこのフィールドワークは、同志社大学で社会福祉学を学んできた最終年度学生の集大成として、同志社大学と親交の深い風間浦村において、専門演習での学びを実践し、交流を深めることを目的に実施されております。

今回は、学生2名ずつに分かれて村内小学校、保育所において交流実習を行った後、風間浦中学校生徒と一緒に昼食をとり、これまでゼミで学んできたグループ討議法を用いた参加型討議による交流を大学生の進行のもと風間浦中学校全校生徒と行われ、活発な全体討議がなされ、交流を深めることができました。

学生と一緒に昼食

風間浦中学校前で記念撮影

全体討議

# 風間浦ウォーキング２０１２を開催!!

九月二十九日に風間浦村ウォーキング２０１２が開催されました。当日はあいにく小雨が降る気候でしたが、歩き始める時には雨も弱まり、総勢三十八名の方に参加していただきました。

今年度はコースを易国間の林道に変更し、森林浴を楽しめるコースに設定しました。

飯田村長のあいさつの後、ラジオ体操を行い、村長の掛け声のもと歩き始めました。子供たちも多く参加していただきましたが、参加者全員が完歩することができました。

さあ、出発

終了後は、食生活改善推進員のみなさんによる減塩の野菜スープがふるまわれました。おかわりをする方もいて、大変好評のうちに終わることができました。

ウォーキングは肥満やメタボリックシンドローム解消に有効であると言われています。村民の健康維持・増進のためにも、今後もこのような取り組みを続けたいと思います。

参加者みなさんで記念撮影

## 第31回 青森県小学生交流陸上競技記録会

## 岩崎七海さん（下風呂小5年） 女子ソフトボール投げ競技 8位入賞おめでとう

第31回青森県小学生交流陸上競技記録会が、9月22日(土)～23日(日)、青森県総合運動公園陸上競技場において開催されました。

本村からは、むつ下北地区予選を勝ち抜いた12名の小学生が出場しました。

女子ソフトボール投げ競技では、岩崎七海さん（下風呂小5年）が38m96cmを投げ、入賞（8位）いたしました。

出場した皆さんの今後、益々のご活躍が期待されます。

入賞した岩崎七海さん

## 風間浦村出場選手の紹介

○6年男子百m
伊勢　諒平（易国間小6年）

○4年男子百m
齊藤　望亜（下風呂小4年）

○女子ソフトボール投げ
岩崎　七海（下風呂小5年）
山本　咲良（蛇浦小4年）

○女子走幅跳び
坂　良衣（下風呂小6年）
駒嶺　夏音（蛇浦小6年）
駒嶺かりん（蛇浦小4年）

○女子二百m
木下　彩花（蛇浦小6年）

○女子走高跳び
岩塚　寧音（下風呂小4年）

○男子八十mハードル
佐藤　凌太（下風呂小6年）

○女子千五百m
家政　萌衣（易国間小6年）

○男子千五百m
蛸島進之介（蛇浦小6年）

## 青森県こども民俗芸能大会
### うみねこ子ども会「折戸神社笠踊り」上演

青森県こども民俗芸能大会が、9月30日（日）、十和田市民文化センターにおいて開催されました。

この大会は、次代を担う子どもたちの伝承活動成果の発表の場を設けることにより、後継者の育成や郷土に対する愛着と誇りを育むことを目的として開催されています。

本村からは、蛇浦地区のうみねこ子ども会（育成会長　山本聡氏）より「折戸神社笠踊り」が上演されました。

長谷川まゆみ氏をはじめとする4名の師匠のご指導により、6月より練習を行ってきた子どもたちは、華やかな演技を行い、会場から大きな歓声とたくさんの拍手をいただきました。

うみねこ子ども会は、笠踊りの他、子ども神楽、餅つき踊り、恵比寿舞などたくさんの伝承芸能活動を行っており、地域芸能の担い手として期待されます。

子どもたちによる踊りの紹介

出演者、指導者、育成者のみなさん

うみねこ子ども会による「折戸神社笠踊り」

## 下風呂郷土芸能保存会
### ～宝くじ助成金で郷土芸能備品を整備～

下風呂郷土芸能保存会では、「地域の連帯感を醸成し自治意識を盛り上げ、郷土芸能の伝承活動の推進及び後継者の育成を図るため地域コミュニティの環境整備」を目的として、長年、懸案事項となっていた郷土芸能用備品を取り揃えることができました。

これは、財団法人自治総合センターが実施している「宝くじの社会貢献広報事業」の一つである一般コミュニティ助成金（宝くじの助成金で整備）を活用しました。

今後、郷土芸能の伝承活動等を通じて、地域コミュニティ活動の充実・強化を図ることが期待されます。

宝くじの助成金で整備された半纏

財団法人自治総合センターでは、宝くじの社会貢献広報事業として集会施設やコミュニティ活動備品、安全な地域づくり、地域の国際化の推進及び地域文化への支援等に対して助成を行い、地域社会の健全な発展と住民福祉の向上に寄与しています。

宝くじの助成金で整備された和太鼓

宝くじキャラクター「クーちゃん」

## スルメイカの解剖にぎやかに 易国間小学校で水産教室

9月11日、青森県漁業士会むつ支部会の主催による水産教室が易国間漁業協同組合所属の金田一善唯理事の協力により、5・6年生8名を対象に開催されました。

当日は、予定していた乗船体験が風の影響により中止となりましたが、朝に水揚げされた71キログラムのマグロが市場へ出荷される作業を見学することができました。易国間漁港を会場にして行われた教室では実際に魚体に触れ歓声を上げたり、イカ漁について質問したりしました。

マグロを間近に見る児童たち

続いて会場を小学校の理科室に移して行われた教室では、むつ水産事務所普及課の山田嘉暢主幹を講師に招き、イカについての話がありました。風間浦村におけるイカの水揚量やイカ釣りはいつから始まったかなど話され、室町時代に佐渡でイカ釣りが始まったことを知った児童たちは驚いた様子でした。引き続いてスルメイカの解剖が行われ、一人に1杯ずつイカが渡され、食道や胃の内容物を観察したりしました。手慣れた児童や苦手な児童など様々で、にぎやかな水産教室になりました。

講師の山田主幹

スルメイカの解剖に悪戦苦闘する児童

この水産教室は、小中学生を対象に、各地域の漁業形態に合わせた様々な体験や学習内容になっており、このような体験や学習を通して生命の大切さを感じ、将来は漁業に従事する子どもが育ってくれることを願い開催されているものです。

# 「第６４回人権週間」

本年12月４日（火）から10日（月）までは「第64回人権週間」です。

昭和23年12月10日第３回国際連合総会で世界人権宣言が採択されて以来、国連ではこれを記念し、毎年12月10日を「人権デー」と定め、各国では基本的人権尊重の精神を徹底させるための記念行事が行われます。

我が国では、「人権デー」を最終日とする１週間（12月４日から10日まで）を「人権週間」と定めていますが、青森県人権擁護委員連合会と青森地方法務局では次の重点目標を掲げ、県民の皆さんに人権尊重思想の大切さを呼び掛けています

**◎平成24年度啓発活動重点目標**
**「みんなで築こう　人権の世紀**
**～考えよう相手の気持ち・育てよう思いやりの心～」**

「人権週間」に当たり、私たち一人一人が人権について考え、明るく豊かな社会をつくりましょう。

なお、毎日の生活の中でお困りのときは、**全国共通人権相談ダイヤル**（☎0570－003－110）、**青森地方法務局むつ支局**（むつ市金谷二丁目６の15☎0175－23－3202）又はお近くの人権擁護委員に御相談ください。

相談は無料で、秘密は厳守します。

また、青森地方法務局では**子どもの人権110番**（☎0120－007－110）、**女性の人権ホットライン**（☎0570－070－810）も開設しています。

**◆特設人権相談所開設のお知らせ◆**

| | |
|---|---|
| と　　き | 平成24年12月５日　　午前10時～午後３時 |
| と　こ　ろ | 下風呂公民館 |
| 相談担当者 | 成田　昭信人権擁護委員・佐賀　勇一人権擁護委員 |

# 風間浦村普通会計決算報告

**平成23年度決算額　2,469,890千円**

## ■総　括

決算規模は、2,469,890千円となり、前年度比△8.2％の減となった。

実質収支・単年度収支は黒字となったが、実質単年度収支は赤字となった。

## ■歳　入

歳入合計では、前年度と比較して△226,494千円の減となった。主な要因としては、国庫支出金△150,335千円の減、地方債△96,300千円の減である。

一方、県支出金は、電源立地対策交付金などの増により、16,632千円の増となった。また、財政調整基金から44,000千円を取り崩して財源に充当した。

## ■歳　出

### (1)目的別歳出

目的別歳出の主な構成内訳は、総務費16.5％、民生費16.6％、衛生費21.7％、農林水産業費9.1％、商工費2.6％、土木費3.7％、消防費3.9％、教育費8..4％、公債費14.5％となっている。

主な増減としては、総務費△61,459千円（△13.1％）の減、民生費5,614千円（1.4％）の増、衛生費28,996千円（5.7％）の増、農林水産業費△67,364千円（△23.0％）の減、土木費△12,553千円（△12.2％）の減、消防費5,886千円（6.6％）の増、教育費△137,863千円（△39.9％）の減、公債費9,874千円（2.8％）の増となっている。

### (2)性質別歳出

義務的経費では、扶助費が障害者自立支援給付費などの増により、5,292千円（4.8％）の増となった。

補助費は、水産業関連補助金の減、下北地域広域行政事務組合負担金（し尿）の減等により、△29,142千円（△5.1％）の減となった。

普通建設事業費は、易国間小学校耐震補強事業の完工、県営事業負担金の減等により、△196,267千円（△47.2％）の減となった。

## 表１　決算収支の状況

（単位：千円）

| 区　分 | 歳入総額 (A) | 歳出総額 (B) | 歳入歳出差引額 (A)－(B) (C) | 翌年度に繰り越すべき財源 (D) | 実質収支 (C)－(D) (E) | 単年度収支 (F) |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 平成23年度 | 2,527,480 | 2,469,890 | 57,590 | 5,069 | 52,521 | 5,447 |
| 平成22年度 | 2,753,974 | 2,690,313 | 63,661 | 16,587 | 47,074 | 6,808 |
| 区　分 | 積立金 (G) | 繰上償還金 (H) | 積立金取崩額 (I) | 実質単年度収支 (F)+(G)+(H)－(I)　(J) | | |
| 平成23年度 | 50 | 0 | 44,000 | △38,503 | | |
| 平成22年度 | 30,095 | 0 | 0 | 36,903 | | |

## 表２　村税（決算額：127,822千円）の内訳

（単位：千円）

| | |
|---|---|
| 村民税 | 53,470 |
| 固定資産税 | 54,899 |
| 軽自動車税 | 3,721 |
| 村たばこ税 | 13,360 |
| 入湯税 | 2,372 |

## 表３　特別会計決算額の内訳

（単位：千円）

| | 国民健康保険特別会計 | 簡易水道特別会計 | 介護保険特別会計 | 後期高齢者医療特別会計 |
|---|---|---|---|---|
| 歳入 | 352,364 | 105,546 | 402,311 | 23,767 |
| 歳出 | 320,073 | 105,266 | 387,055 | 23,704 |

## 表４　財産区一般会計決算額の内訳

（単位：千円）

| | 下風呂財産区 | 易国間財産区 |
|---|---|---|
| 歳入 | 12,105 | 2,730 |
| 歳出 | 11,893 | 2,480 |

## 表５　主な事業内容

（単位：千円）

| 款　別 | 事　業　名 | 決算額 | 事　業　内　容 |
|---|---|---|---|
| 総務費 | ハイブリッドカー購入事業 | 6,833 | ハイブリッドカー　２台購入。 |
| | テレビ共同受信施設保守管理事業 | 4,574 | テレビ共同受信施設の保守管理委託業務。 |
| 民生費 | 風間浦村老人無料入浴事業 | 642 | 高齢者の生きがい健康づくり対策として、下風呂温泉公衆浴場の無料利用や安全に入浴等ができるよう介助員配置に要する経費。 |
| 衛生費 | 健康増進事業 | 6,671 | 各種検診、健康相談、教育等の実施に要する経費。 |
| | し尿処理事業 | 35,143 | 村内のし尿処理を広域行政事務組合に委託。 |
| | 塵芥処理事業 | 119,916 | 村内で排出された廃棄物の収集運搬処理費、最終処分場や焼却場の維持管理費、ダイオキシン類の分析委託費に要する経費。 |
| 農林水産業費 | 農道整備事業 | 6,967 | 県営折戸地区ふるさと農道緊急整備事業負担金 |
| | 小規模治山事業 | 6,867 | 新町地区小規模治山事業　法枠工A＝311㎡ |
| | 漁港整備事業 | 61,136 | 県営下風呂地区広域漁港整備事業負担金、県営易国間地区漁港施設整備事業負担金、蛇浦漁港整備事業、桑畑漁港整備事業 |
| | 天然記念物<br>ニホンザル食害対策事業 | 13,631 | 農作物被害対策用の電気柵資材購入・設置及びサル保護管理専門員等の育成に要する経費。 |
| 商工費 | ゆかい村海鮮まつり事業 | 3,000 | 地域資源を活用し、地元産品の消費拡大と観光客の誘客促進を図るためのイベント補助金。 |
| 土木費 | 住宅整備事業 | 6,930 | 村営住宅新蛇浦団地測量・設計委託業務。 |
| | 道路新設改良事業 | 35,011 | 甲住宅線道路改良事業L＝233.2m統合中学校線道路改良事業L＝340.0m |
| 教育費 | 学校教育備品整備事業 | 7,213 | 小・中学校における教材及び一般備品の購入 |
| | 奨学資金貸付事業 | 14,610 | 高等学校以上の学校に在学する生徒・学生に就学の便宜を図るための資金を貸与 |
| | 社会教育事業 | 4,135 | 放課後子ども教室、成人式、子ども会交流事業及び県民体育大会等のスポーツ大会参加に要する経費。 |
| 消防費 | 消防施設整備事業 | 10,269 | 小型動力ポンプ付積載車　１台購入。 |

### 【参考】　■用語解説■

人　　件　　費……村長等特別職及び職員の給料や議員の報酬など
扶　　助　　費……老人施設措置費やこども手当など福祉のための費用
公　　債　　費……地方債借入金返済のための費用
補　助　費　等……各種団体への負担金及び補助金、保険料、謝礼など
物　　件　　費……委託料や使用料、光熱水費、消耗品費、臨時職員の賃金、備品購入費など
繰　　出　　金……国民健康保険特別会計や簡易水道特別会計等への繰出金
貸　　付　　金……中小企業に対する貸付金の原資や奨学資金の貸付等
積　　立　　金……基金への利息等の積立金
維 持 補 修 費……公共施設の修繕料、村道等の除雪費など
投資及び出資金……出捐金など
投 資 的 経 費……道路や漁港等の建設事業費や公共事業用地の購入費など

# お知らせ ～information～

## 平成25年度母子及び寡婦福祉資金予約貸付実施

『母子寡婦福祉資金』貸付制度とは、母子家庭及び寡婦の経済的自立のために、子どもの進学や就職などに必要な資金を貸し付ける制度です。

**＝貸 付 対 象 者＝**

① 母子家庭の母と扶養する児童
② 寡婦と扶養する児童
③ 父母のいない20歳未満の児童

**＝貸付対象資金＝**

① 修　学　資　金（一般分・特別分）
高等学校、大学、高等専門学校又は専修学校において修学する際に必要となる授業料、書籍代、通学費などの資金

② 修　業　資　金
就職や事業を開始するために必要な知識技能を習得する目的で、修学資金の対象とならない各種学校において修業する際に必要となる資金

③ 就 学 支 度 資 金
進学する際に必要となる入学金や制服等の購入費等の資金

④ 就 職 支 度 資 金
就職するために直接必要な被服、履物など及び通勤用自動車等を購入する資金

**＝実　施　機　関＝**

下北地域県民局地域健康福祉部

**＝受　付　期　間＝**

平成24年11月１日～平成25年２月15日まで
（但し、修学資金・修業資金については締切日以降も受付しますが、その場合は資金交付時期が遅れる場合があります。）

※　独立行政法人日本学生支援機構法による奨学金又は市町村等の他制度による奨学金が貸与される方、金融機関の融資を利用する方には、原則として貸付できません。

**申請手続・その他お問い合わせ等は下記へ**

**総合福祉センター「げんきかん」内　村民生活課　　☎３５－３１１１**

## 第８回むつ海洋・環境科学シンポジウム開催

むつ市に所在する(独)日本原子力研究開発機構、(独)海洋研究開発機構、(財)日本分析センター、(財)日本海洋科学振興財団の４研究機関が一堂に会し、海洋・環境科学に関する研究活動の一端を住民の方々にわかりやすくご紹介するとともに、関連する研究分野について最新の研究発表を行うシンポジウムを開催します。

**【日　　時】**11月22日（木）　13時30分～ 17時55分
**【場　　所】**むつグランドホテル（むつ市田名部下道４）
**【参　加　料】**無料
**【お問い合わせ】**第８回むつ海洋・環境科学シンポジウム事務局　Tel：２３－４２１１
（独立行政法人日本原子力研究開発機構青森研究開発センター内）

## 風間浦消防分署からのお知らせ

### 《１１９番通報は消防本部（むつ市）に接続されます。》

平成25年３月５日（予定）から、消防緊急通報電話（119）は、下北広域消防本部（むつ市小川町２-14- １）に接続されます。

火事、救急・救助等消防機関に119番通報するときは、住所（市町村名から）や目標物、世帯主等災害発生場所をはっきり伝えてください。

最寄りの消防署所から直ちに消防車・救急車が駆けつけます。

※　携帯電話からの119番通報は、稀に他の消防本部につながることがあります。この場合、通報内容を聴き取ってから当消防本部に伝達されるため、出動までに相当の時間を要することになります。

身近に固定電話がある場合は、固定電話からの119番通報を優先するようお願いします。

**風間浦消防分署（電話0175－35－2101）**

## 「下北地域脳卒中・救急医療フォーラム」開催
### ～脳卒中！早めの受診があなたを救う～

**どんな症状で救急車を呼びますか？　どんな症状で受診しますか？**

**あなたは脳卒中について正しく理解していますか？**

＊医療資源（病院、診療所等）が限られている下北地域の救急医療について、みなさまとともに考えるフォーラムです。

＜どんな内容＞

◎話題提供

(1)　医師の立場から

むつ総合病院　脳神経外科部長　梅　森　　勉 氏

(2)　救急搬送の立場から

下北地域広域行政事務組合消防本部　警防課長補佐　松　橋　照　和 氏

◎講話「脳卒中－アタらないために、アタってしまった時のために－」

弘前大学大学院医学研究科脳神経外科学講座　教授　大　熊　洋　揮 氏

＜い　　つ＞　１１月１８日（日）　午後１時30分～３時30分

＜ど　こ　で＞　むつグリーンホテル

＜参　加　費＞　無料

＜問 合 せ 先＞

下北地域県民局地域健康福祉部保健総室（むつ保健所）

フォーラム担当　☎０１７５－２４－１２３１

## 大間病院だより

大間病院　副院長　穐　元　　崇

# インフルエンザ予防について

みなさんこんにちは。大間病院の穐元です。赴任して半年が立ちようやく大間にも慣れ始めてきました。そんな頃になると季節もすっかり秋めいてそろそろ冬が顔を出し始めるようです。

さて話は変わりますが、今年も冬季にはインフルエンザの流行が予想されます。

体の弱い乳幼児や高齢の方はもちろん、健康な大人でもインフルエンザの予防をすることで仕事の影響を極力減らしてこの冬を乗り越えて欲しいと思います。

今年のインフルエンザに関してですが、10月５日現在においてはいまだ青森県、北海道でのインフルエンザ感染者は確認されておりません。

しかし11月あたりより例年インフルエンザに罹患される方が出てきます。

流行に備えるためにも早めの予防接種が重要です。

インフルエンザを予防する方法としては、以下があげられます。

### １）流行前のワクチン接種

インフルエンザワクチンは、かかった場合の重症化防止に有効と報告されており、わが国でも年々ワクチン接種をする方が増加しています。

### ２）外出後の手洗い等

手洗いは手指など体に付着したインフルエンザウイルスを物理的に除去するために有効な方法であり、インフルエンザに限らず感染予防の基本です。また、外出後の手洗い、うがいは一般的な感染症の予防のためにもおすすめします。

### ３）適度な湿度の保持

空気が乾燥すると、のどの粘膜の防御機能が低下し、インフルエンザにかかりやすくなります。特に乾燥しやすい室内では加湿器などを使って、適切な湿度（50 ～ 60%）を保つことも効果的です。

### ４）十分な休養とバランスのとれた栄養摂取

体の抵抗力を高めるために、十分な休養とバランスのとれた栄養摂取を日ごろから心がけましょう。

### ５）人混みや繁華街への外出を控える

インフルエンザが流行してきたら、特にご高齢の方や基礎疾患のある方、疲労気味、睡眠不足の方は、人混みや繁華街への外出を控えましょう。やむを得ず外出をして人混みに入る可能性がある場合には、ある程度の飛沫等を防ぐことができるマスクを着用することはひとつの防御策と考えられます。ただし、人混みに入る時間は極力短時間にしましょう。

自分だけではなく周囲の人のためにも、インフルエンザ予防接種を考慮いただければと思います。

大間病院では11月１日から翌年の１月31日まで予防接種を行う予定となっております。是非早めの備えをお願いしたいと思います。

# 健　康　だ　よ　り

## 予防接種を適切に受けましょう！

予防接種はポリオやはしかなどの感染症を予防するために行うものです。どちらかというと、子どもに行うものというイメージが強いですが、インフルエンザや肝炎など、成人でも注意するべき感染症は多く、適切に受けることによりこれらの病気を防ぐことができます。

村では**１０月１日よりインフルエンザ予防接種の全額費用補助**を行っており、風間浦診療所で受ける場合は窓口負担がありません。気温もかなり低くなり、風邪や感染症にかかりやすい時期となりますので、手洗い･うがいの他にも予防接種を受けるようにしましょう！！

### 予防接種の種類

●乳幼児・児童・生徒
- 不活化ポリオ
- 三種混合
- 麻疹風疹
- 日本脳炎
- ヒブ
- 小児肺炎球菌　など

●成　　人
- インフルエンザ
- 高齢者肺炎球菌
- 子宮頸がん　など

**目的にあったワクチンを打ちましょう！**

### 注意すべきこと

- 発熱、頭痛、発疹などの**『副反応』**と呼ばれるものが出る場合があります。呼吸困難等が起こる場合もまれにありますので、**接種後30分間**は様子をみるようにしましょう！
- 入浴はさしつかえありませんが、**接種した部分はこすらないように**しましょう！
- 複数回接種するワクチンは**接種間隔**が決まっているものもありますので、きちんと確認して接種しましょう！
- 当日は激しい運動は避けましょう！
- 接種部位は清潔を保ちましょう！
- 体調のよい時に受けましょう！

### インフルエンザ接種費用補助のお知らせ

●対　　象　村内に住所のある方

●接種回数
- 13歳以上・・・１回
- 13歳未満・・・２回
  （初回接種時の年齢）

●期　　間
平成24年10月１日
～平成25年３月31日

●助成方法
- 風間浦診療所で受ける場合
  **…窓口負担なし**
- 他の医療機関で受ける場合
  …いったん料金を支払っていただき、後日**村民生活課（げんきかん）**で払い戻しの手続きをしていただいたあとに指定口座へ料金を払い戻します。

**⇒今年も全額助成です！**

年金だより

# 「社会保険料（国民年金保険料）控除証明書」が発行されます

## ～～年末調整・確定申告まで大切に保管を！～～

国民年金保険料は、所得税及び住民税の申告において全額が社会保険料控除の対象となります。その年の１月１日から12月31日までに納付した保険料が対象です。

この社会保険料控除を受けるためには、納付したことを証明する書類の添付が義務付けられています。

このため、平成24年１月１日から９月30日までの間に国民年金保険料を納付された方については、「社会保険料（国民年金保険料）控除証明書」が本年11月上旬に日本年金機構本部から送付されますので、年末調整や確定申告の際には必ずこの証明書（又は領収証書）を添付してください。

また、10月１日から12月31日までの間に今年はじめて国民年金保険料を納付された方については、翌年の２月上旬に送付されます。

なお、ご家族の国民年金保険料を納付された場合も、ご本人の社会保険料控除に加えることができますので、ご家族あてに送られた控除証明書を添付のうえ申告してください。

「社会保険料（国民年金保険料）控除証明書」についてのご照会は、控除証明書のはがきに表示されている番号にお問い合わせください。

**控除証明書専用ダイヤル**

**（平成24年11月１日～平成25年３月15日）**

TEL0570－070－117（ナビダイヤル）

050または070から始まる電話でおかけになる場合は

TEL03－6700－1130

＊ナビダイヤルは、一般の固定電話からおかけになる場合は全国どこからでも、市内通話料金でご利用いただけます。ただし、一般の固定電話以外（携帯電話等）からおかけになる場合は通常の通話料金がかかります。

＊TEL03－6700－1130の電話番号におかけになる場合は、通常の通話料金がかかります。

# 社協だより

Vol.232

## 天皇・皇后両陛下ご臨席のもと全国老ク大会開催

「全国老人クラブ連合会創立50周年記念全国老人クラブ大会」が十月四日（木）東京都日比谷公会堂を会場に天皇・皇后両陛下ご臨席を仰ぎ、開催されました。

大会には、今本青森県老連会長のほか、当村からも今大会で全国老ク連合会長表彰を受けた佐々木久次郎村老連会長が参加しました。

天皇陛下は「今日の高齢者は、私もその一人ではありますが、多くの人命が失われた悲惨な戦争によって荒廃した国土から立ち上がっていく我が国と、歩みを共にしてこられました。私どもは若いときに平和の大切さを身にしみて育った世代です。

皆さんが老人クラブなどの活動を通して、それぞれ幼いときに、あるいは青年として経験したことを直に子どもたちや若い世代の人々に伝えていくことは、我が国のために極めて大切なことと思われます。」と、おことばを述べられました。

また、厚生労働大臣が挨拶、来賓として、野田内閣総理大臣、衆参両院議長が出席され、祝辞を述べられました。

青森県老連参加者一同（下段、右から２人目、今本県老連会長・左下、佐々木村老連会長）

## ふれあい交流会開催

このほど、易国間・蛇浦地区の公民館を会場に高齢者と児童との「ふれあい交流会」を開催しました。

参加者は、ゲームや昼食を楽しみながら交流を深めました。

９月29日（土）易国間開催

カードめくりゲーム（易国間）

高齢者の皆さんは「皆で食べる食事は、おいしい。」「たくさん笑って楽しかった。」などと感想を話していました。

参加された皆さん、ご協力いただきました、ご父兄、先生方に心から感謝申し上げます。

（担当：川島）

10月６日（土）蛇浦開催

「負けないぞ～」（蛇浦）

# ピカピカ ダイヤモンド賞

**平成24年度に実施いたしました3歳児健康診査(歯科検診)においてむし歯が0本だったお子さんをご紹介いたします。**

下風呂
佐賀　広（保護者：亮）

これからもハミガキがんばります。

お家の方からのコメント
夜の仕上げみがきは特に大切だと思います。

☆食べたり飲んだりした後はハミガキをしましょう。また、寝る前には必ず家族の方に仕上げみがきをしてもらいお口の中の様子とみがき残しがないかチェックしてもらいましょう！

**風間浦村役場**
**村民生活課　保健・衛生グループ**

## 戸籍の窓

（9月届出分）

**●お誕生おめでとう**

宮野恋心（みやのここ）ちゃん（正憲）易国間
木村煌雅（きむらこうが）くん（祐生）下風呂

**●お悔やみ申し上げます**

越膳せつさん（88歳）易国間
高橋庄市さん（90歳）下風呂
三上輝彦さん（65歳）下風呂
佐藤れきさん（89歳）易国間

## 私たちの村の人口

（9月末現在）

| | | |
|---|---|---|
| 男 | 1,153人 | （先月比－2人） |
| 女 | 1,181人 | （〃 －2人） |
| 計 | 2,334人 | （〃 －4人） |
| 世帯数 | 1,012世帯 | （〃 －5世帯） |